



私たこの歩んできた道は常に未知のものであり、行く手を着実に見定め歩んだ人、茨の道を切り開くように突き進んだ人、比較的平坦な道を歩んだ人等々、そのありようは多様で個性的なものです。

そのような私たちも、ふと自分とは何者であり、何処に向かつているのだろうかなどと考える時があり、これからもあるのではないでしょうか。

そんな時ふと心に浮かんでくるのは、故郷の豊かな自然、営々と培われてきた生産の営み、それらを通して人を育んできた心、そして学び舎であり、それらのものが私たちを前に突き動かしてきた根底のものであり、その上にそれぞれの個性を花開かせてきたように思うのです。

そんなものを快く、或いは何となく心の隅で受け入れたり、長いものには巻かれたくはないと反発し違和感を覚えたり、そんな様々な想いを織り交ぜながら東京鶴翔同窓会も四〇年の歩みを刻んできました。

今年の準備にあたった実行委員から同じ思いのように湧いて出た言葉、それがテーマの核心である「ありがとう！」でした。参会頂ける方、或いは都合で参会頂けない方も、大事に温めている、或いは何処か心の隅の方に置いてあるのかもしれない「ありがとう！」にこの総会を機に共感いただければ幸いです。

## 第40回 東京鶴翔同窓会のご案内

■日時：平成22年6月19日（土）  
13：30～16：00（受付開始12：30）

■場所：日本海運倶楽部 二階大広間  
千代田区平河町2-6-4 海運ビル  
電話 03（3264）1825

■交通：有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅 1分  
銀座線・丸の内線 赤坂見附駅 5分

■会費：一般会員 8,000円  
高齢会員（S24年卒以前） 4,000円  
大学・専門学校会員 4,000円  
他に東京鶴翔同窓年会費、一口1,000円ですが、  
何卒二口以上のご協力を賜りたくお願い申し上げます。


■出欠の返事  
出欠の返事は、**5月31日（月）**までに同封の  
ハガキ、または東京鶴翔同窓会ホームページ  
にてお願いします。  
<http://www.tokyokakushou.com>



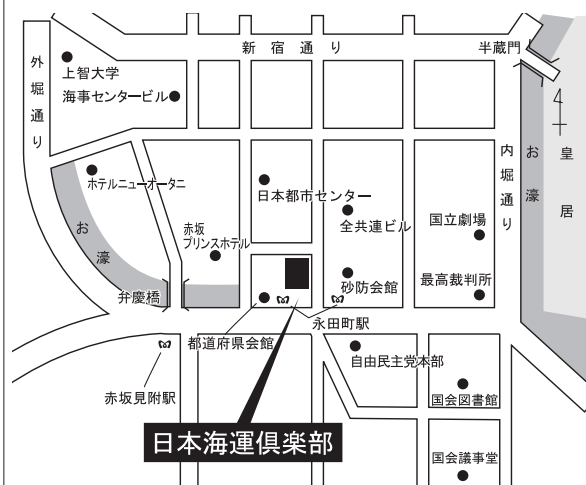
題字は初代会長 故田倉八郎氏筆

第40回  
記念号

発行 東京鶴翔同窓会  
発行人 小鷹 光雄(40年72回卒)  
編集人 渡会 偵祐(40年72回卒)

宣伝物の企画から印刷まで  
 日本商業宣伝村  
 〒162-0041  
 新宿区早稲田鶴巻町567  
 TEL. 03-5287-5885（大代表）  
 佐藤 成生（27年59回卒）

## ■会場のご案内



## 東京鶴翔同窓会・幹事名簿

平成二十二年四月一日

[illegible]

皆様のご出席を  
お待ちしております。

第40回 東京鶴翔同窓会

実行委員会

[illegible]

# 編集後記

今このあとがきを書きながら、嬉しくて嬉しくて同窓会の皆さんに心から感謝したいという心境なのです。

実は編集委員を引き受けたのはいいのですが今まで同窓会に疎遠だったし、ふるさとの仲間とは付き合いも少なく、帰郷もあまりしてないこともあり、責任を全うできるか大変心配でした。

しかしいざ始まってみると実行委員  
会では前向きかつ友好的で強い連帯感  
が感じられましたし、会員の皆様には  
会報原稿の執筆依頼も快く引き受け  
ていただきました。更には広告の掲載  
にもこのリーマンショック後の不況の中  
で多数協力いただきました。これが伝統  
ある母校、自然あふれるふるさとで育  
まれた同窓会員の力なのかと改めて実  
感し、感謝する次第です。

今年度のテーマは巻頭言にあるように実行委員から同じ思いのように湧いて出てきた”母校、ふるさと、みんなにありがとう”ですが、全くその通りだと思えます。

神楽の実演や化け物祭りの仮装などのイベントでふるさとのパワーを出せるよう何よりもたくさんの会員の方々に参加して頂き楽しみながら、連帯の力が更に増すことを願っております。


なお、会報の企画編集に際して、佐藤成生氏には多大なる支援協力を頂きました。このことを報告し、心からお礼申し上げます。

(渡会偵祐・記)

「あったらいいな」に応えます。



編集から出版までのトータルプランナー


**株式 日本商業宣伝社**  
**日本総合出版（株）**  
 佐藤 成生（59期）

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町567番地  
TEL 03 (5287) 5885 FAX 03 (5287) 5632

～ 楽しいこと いっぱい ～

# 庄内イイナ会

**S17年度庄内生まれ首都圏在住者の集い  
年度にかかわらず、入会大歓迎です**

事務局：本間敬士 TEL/FAX 0297(73)0364

昭和30年卒業の我々の 幹事年 です  
クラブの先輩 後輩の懐かしい人に再会できます  
同期生の諸君、ふるって ご出席ください

新年会50名の参加あり 夏にはダダチャ豆会も

62回 鶴南会 五十嵐隆二 奥山綏 高橋徹  
佐藤新市 奥田文夫



東京鶴翔同窓会の皆様には益々ご健勝でご清栄のこととお喜び申し上げます。

お陰様で本会は今年40周年という節目の年を迎えますが、これも偏に毎年維持会費を納入して下さる会員各位のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

第40回総会のテーマは「母校、ふるさと、みんなにありがとう」：翔べ40年の歩みとともに！」です。故郷というと庄内の豊か

な自然や美味で豊富な食べ物をすぐ連想しますが、郷土史と言われると途端に自信がなくなる人が多くなるようです。高校までの社会や歴史の授業で郷土史に触れた記憶がありませんから無理もないことですが、郷里の歴史を知るとますます庄内が好きになり、誇りに思うから不思議なものです。

例えば作家藤沢周平は「義民が駆ける」で三方国替えを取り

上げ、「百姓といえども二君に仕えず」とした義民一揆を詳述していますが更に後日談があつて、一度出された幕命を覆した南町奉行矢部駿河守の大英断に感謝した庄内人は、異境の地で不遇な死を遂げた恩人を悼み、現在も命日には祭事を欠かさないということです。

このような話は郷土史に触れるといくつも出てきますが、私どもは実直で徳義を重んじる庄内人の精神を学び、引き継ぐとともに、ふるさとの自然や食べ物

日本海と庄内平野を一望する  
【白砂青松コース】

湯の浜カントリークラブ

TEL・0235 (75) 2044

鶴岡市立

加茂水族館

山形県鶴岡市今泉字大久保656  
0235(33)3036 FAX.0235(33)1129

源泉100%掛け流し  
旬の地産の素材を  
生かした手作りの  
お料理と心暖まる  
おもてなしでお待ち  
致しております。

山形県 湯野浜温泉  
海辺のお宿 Q-2

女将 木村 君子  
TEL 0235-75-2121  
〒997-1201 山形県鶴岡市湯野浜1-10-29  
FAX/0235-75-2123 E-mail/ikkyuu@net.sfsi.co.jp  
http://www.net.sfsi.co.jp/ikkyuu/

## みんないきいき！ 生命輝く 「つるおか」に



鶴岡市長  
榎本 政規  
(昭和43年75回卒)

う考え方が大事なのではないかと考えています。こうした観点に立ち、私は、市民(＝市民力)、地域(＝地域力)、行政(＝行政力)という三つの力の協調・協力により、地域の総合力を発揮することで、希望あふれる鶴岡市を創って参ります。そして、まちづくりの柱として「鶴岡ルネサンス宣言」掲げました。「創造文化都市宣言(地場の可能性をのばすこと)／観光文化都市宣言(観光で人と人が繋がっていくこと)／学

術文化都市宣言(知を活かすこと)／安心文化都市宣言(暮らし環境を整えること)森林文化都市宣言(自然と共に生きること)――こうしたことの実現に向け、積極的に市民や地域の力を引き出すため、市民との交流・対話を図る「万人車座ミーティング」を開催し、行政改革大綱の策定と推進、財政健全化の一層の促進のため、民間有識者(一部公募)によつて構成する「鶴岡財政諮問会議」を創設するなどに取り組みします。安心安全な生活の場を提供し、これからも誇りを持って住み続けたいと思う地域社会の実現のために、全力を挙げて取り組んでいきます。

この原稿は平成二十二年二月現在で書いています。私はこの三月三十一日を以て定年退職となる予定ですので、「鶴翔」四十号が発行される頃には「前校長」という立場になつていきたいと思います。それを踏まえて標記のような題を付けました。

私は昭和四十三年三月鶴南卒業。大学を卒業した昭和四十七年から二年間国語の兼任講師(本務は鶴工定時制)、昭和五十年四月から十四年間国語科教諭として勤務。そして平成二十年四月からの二年間

校長として勤務させていただきました。生徒の時代も合計すると二十二年間も鶴岡南高校にお世話になりました。その間出会つた恩師の先生方、同期・同窓の仲間、職場でご指導いただいた先生方、授業や担任、部活動を担当した生徒たち、同窓会、PTAの皆さんのお陰で三十八年間の教員人生を終えられた今のところ予定だが)と思っております。

平成元年四月に鶴南から他校に転勤になった時のことです。「田川地区内ならどこでも」という異動希

望を出した上でのことでしたので覚悟はできていたはずでした。ところが、新赴任先での飲み会の帰りに鶴岡駅に妻を迎えに來てもらつて帰る途中、妻の実家(若葉町)に寄り、鶴南と鶴工グラウンドの間の狭い道路を通りました。鶴南の校舎を見上げたら涙がとまらなくなりました。折から満開となつていた鶴岡公園の桜。それらを見て、自分がどんなに鶴南を愛していたか思い知らされたのです。その時はもう一度と勤務することはないと思つていた母校に、教員生活の最後にまた赴任できたことを本当に幸せに思い、これまで出会つたすべての皆さんに感謝申し上げて去っていきます。ありがとうございました。(二〇一〇・二八記)

## 「母校よ ありがとう」



鶴岡南高等学校校長  
松浦 孝一  
(昭和43年75回卒)

望を出した上でのことでしたので覚悟はできていたはずでした。ところが、新赴任先での飲み会の帰りに鶴岡駅に妻を迎えに來てもらつて帰る途中、妻の実家(若葉町)に寄り、鶴南と鶴工グラウンドの間の狭い道路を通りました。鶴南の校舎を見上げたら涙がとまらなくなりました。折から満開となつていた鶴岡公園の桜。それらを見て、自分がどんなに鶴南を愛していたか思い知らされたのです。その時はもう一度と勤務することはないと思つていた母校に、教員生活の最後にまた赴任できたことを本当に幸せに思い、これまで出会つたすべての皆さんに感謝申し上げて去っていきます。ありがとうございました。(二〇一〇・二八記)

望を出した上でのことでしたので覚悟はできていたはずでした。ところが、新赴任先での飲み会の帰りに鶴岡駅に妻を迎えに來てもらつて帰る途中、妻の実家(若葉町)に寄り、鶴南と鶴工グラウンドの間の狭い道路を通りました。鶴南の校舎を見上げたら涙がとまらなくなりました。折から満開となつていた鶴岡公園の桜。それらを見て、自分がどんなに鶴南を愛していたか思い知らされたのです。その時はもう一度と勤務することはないと思つていた母校に、教員生活の最後にまた赴任できたことを本当に幸せに思い、これまで出会つたすべての皆さんに感謝申し上げて去っていきます。ありがとうございました。(二〇一〇・二八記)

40年の節目を迎えた第40回東京鶴翔同窓会総会が、本年は72回、82回、92回卒業同窓生を中心に「母校、ふるさと、みんなにありがとう」：翔べ40年の歩みとともに！」のテーマの元で盛大に開催されますことに心よりお慶び申し上げます。また、渡部会長を始め皆様からの鶴翔同窓会への日頃のご理解とご支援に心からの敬意と感謝を申し上げます。

昨年は政権交代という大きな変革があつた年でありました。

明治維新や敗戦とならぶ大きな変革の時代に突入しましたが、このような時代であるからこそ一方では変革に耐えられる「絆」が必要になつてくると思われま

最近「無縁社会」という言葉が目につきます。特に、大都会においては親戚関係、近所付き合いが希薄になつてい

人は一人では生きて行けません。このような時代背景の元、母校や故郷に感謝を込めて集うことは誠に意義深いことと思

「絆」が殺伐とした社会に潤いを与え、生きる力を育む活力になればと思います。

鶴翔同窓会は歴史と伝統を尊ぶと共に、新たな時代に挑戦しなければなりません。組織は新しい力が加わらなければ衰退してしま

若い同窓生の方々多数のご参加を期待し、皆様方と今こそ若い活力が同窓会に限らず社会も必要として

これからの母校の発展のためにも、同窓生の皆様には今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いしてお祝いの言葉とします。

## 「絆」



鶴翔同窓会会長  
石黒 慶一  
(昭和35年67回卒)

明治維新や敗戦とならぶ大きな変革の時代に突入しましたが、このような時代であるからこそ一方では変革に耐えられる「絆」が必要になつてくると思われま

最近「無縁社会」という言葉が目につきます。特に、大都会においては親戚関係、近所付き合いが希薄になつてい

人は一人では生きて行けません。このような時代背景の元、母校や故郷に感謝を込めて集うことは誠に意義深いことと思

「絆」が殺伐とした社会に潤いを与え、生きる力を育む活力になればと思います。

鶴翔同窓会は歴史と伝統を尊ぶと共に、新たな時代に挑戦しなければなりません。組織は新しい力が加わらなければ衰退してしま

若い同窓生の方々多数のご参加を期待し、皆様方と今こそ若い活力が同窓会に限らず社会も必要として

これからの母校の発展のためにも、同窓生の皆様には今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いしてお祝いの言葉とします。

ふるさとの  
歴史を知ろう

東京鶴翔同窓会会長  
渡部 洋  
(昭和36年68回卒)

な自然や美味で豊富な食べ物をすぐ連想しますが、郷土史と言われると途端に自信がなくなる人が多くなるようです。高校までの社会や歴史の授業で郷土史に触れた記憶がありませんから無理もないことですが、郷里の歴史を知るとますます庄内が好きになり、誇りに思うから不思議なものです。

例えば作家藤沢周平は「義民が駆ける」で三方国替えを取り

上げ、「百姓といえども二君に仕えず」とした義民一揆を詳述していますが更に後日談があつて、一度出された幕命を覆した南町奉行矢部駿河守の大英断に感謝した庄内人は、異境の地で不遇な死を遂げた恩人を悼み、現在も命日には祭事を欠かさないということです。

このような話は郷土史に触れるといくつも出てきますが、私どもは実直で徳義を重んじる庄内人の精神を学び、引き継ぐとともに、ふるさとの自然や食べ物

いつも もっと おいしい日本酒へと

SINCE 1778

栄光富士

富士酒造株式会社  
〒997-1124 山形県鶴岡市大山3-32-48  
TEL 0235-33-3200 FAX 0235-33-0477  
URL : www.e-sakenom.com

International Wine Challenge 2009,TROPHY  
CHAMPION AWARD FINALIST

日本初 全国新酒鑑評会 第一部 連続金賞受賞記録

三年連続 日本一

米・水・人・神 100%地醸酒

白露垂珠 地讃地匠

鶴田川地区で採れる孟宗はその柔らかさと美味しさで  
高い評価を得ています。孟宗料理の数々をどうぞお楽しみください。

平成22年

孟宗の膳 5月6日(木)▶5月31日(月)

山形県 湯田川温泉 九兵衛旅館 / 別館 たまや 珠玉

TEL.0235(35)2777

〒997-0752 山形県鶴岡市湯田川乙19 ホームページ 九兵衛旅館

専務取締役 大滝研一郎(昭和62年卒)

一庄内の歴史と風土をたずねてー

財団法人 致道博物館

〒997-0036山形県鶴岡市家中新町10-18  
TEL 0235-22-1199  
http://www7.ocn.ne.jp/~chido/  
E-mail : chido@axel.ocn.jp

あいたい！ふるさとへの近道

鶴岡江戸屋敷

鶴岡市東京事務所  
〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7  
TEL 03-5696-6821  
FAX 03-5696-6822  
E-mail : tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

初宮・安産祈願・厄除 等

越谷香取神社

宮司 小林 桂子 (昭46卒)

〒343-0025 埼玉県越谷市大沢3-13-38 TEL 048 (975) 7824  
HP http://www16.ocn.ne.jp/~katori/



鶴岡市の上空に雪雲が停滞し、しんしんと雪が降り続け野も山も厚く雪に覆われた。平成二十一年十二月中旬、折しも鶴岡の「お観音ハンの歳夜」の日だった。鶴岡公園の積雪も八十センチを超え、樹齢数百年の老松の太い枝が折れるほど、近年にない大雪で「スパー」さもイガエナクで困ったもんだデッテ」と嘆くお年寄りもいた。

テレビの全国ニュースでその大雪の様子が映し出され、古里の祖父母の安否を心配する電話がしきりだったという。アナウンスは「鶴岡市カツラ・アラマタ」と聞こえ。スパーの文字は桂荒俣と表示される。「カツラアラマタつてどこだっけ？」と今鶴岡に住んでいる人も「瞬首を傾げる。鶴岡市(櫛引)桂荒俣で、土地の人はカツラマタとつづめて呼んでいる。町村名が省略され、市名からすぐに字名になると分からない。同じ鶴岡市内でも「羽黒」という地域名が入ると分かりやすい。以前、鶴岡市馬町という新聞記事を見て「馬場町」と勘違いしたという話もある。鶴岡市・大山馬町ならば勘違いすることはない。郵便番号の普及で郵便物は遅延なく配達されるが、なじみ深い町村名藤島、朝

日・温海が消えたのは寂しく感じられる。

鶴岡で暮らしていると今も多くの人々が「ツロオカ」と言っている。不便もない。しかし地名辞典など辞典類、あるいはJRの駅名もすべて「つるおか」と表示されている。たれしに「ツロオカ」と言おうとすると思外に発音しにくく、口の動きを意識しないと「ツロオカ」になってしまう。「ル」と「ロ」の違いなどだん気づくこともなく、発音しやすいうか。県外の人が多い会合で「ご出身は」「郷里は」と尋ねられると、一瞬身構えて「ツロオカです」と答えるが、かなり緊張した言い方になっていることに気づき、取り澄ましたような感じとよそよそしさを相手に与えなかっただろうかと思配したりする。

地名・人名は、土地の人の呼び方、本人の意向に従うというのが一つの考え方である。本人の言う通りに呼ぶに限定する。ただ地名となると簡単ではない。いくら鶴岡の人が「ツロオカ」と言っているからといって、住民台帳などの公的なものにまで取り入れるわけにはいかないし、インターネットでも「ツロオカ」で

はアクセスできない。その土地のなまりは暮らしが続くかぎり消えることがないとすれば、時と場合によつてしばらくは共生していくことになるのだろうか。

夏休みになれば都会から子や孫たちが鶴岡に帰ってくる。電話から幼い孫の声が聞こえる「夏休み、ツロオカに行くから待ってね」メールの苦手な祖父はニコニコ顔で答える。「ンダが、気をつけてこいよ、待てるはげの」。それで十分に通じるのだ。

長い歳月、古里を離れて暮らしている人は、自分の体調もあり、生家が代替わりしているから、若い時ほど気軽に帰省できなくなり次第に足が遠のく。が、望郷の思いは年とともに強まる。約三十年前、東京の会合で七十歳代のおばあさんがつぶやいた。「足腰弱くなって、さ帰るのも難儀だが、死ぬ前にいっぺん由良の海見でえもんだの」。おばあさんの脳裏に浮かんでいたのは、コアミ日和の春の海なのか、海水浴場のにぎわいなのか、波の花飛ぶ冬の海なのか、あるいはそのすべてなのかは知る由もない。

新鶴岡市になって五年近く、住民にまだ戸惑いは残っている。地域々々の暮らしに変化はない。「黒川能」は鶴岡市の黒川能であり、山菜や笹巻きの名産地は温海であり、クチボソや寒ダラは庄内浜である。一つの市に統合されても、古里「ツロオカ」の地域性は四季を通して変わることはない。

<p>株式会社 遠藤会計事務所</p> <p>代表取締役所長 税理士 遠藤 研一 (76回卒)</p> <p>事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号 電 話 0235-22-2884 (代表) FAX0235-24-3846</p>	<p>山中税務会計事務所</p> <p>税理士 社会保険労務士 山中 昊吉 (61回)</p> <p>〒108-0014 東京都港区芝5丁目20番7-303号 TEL (03) 3798-5895 (代) FAX (03) 3798-5896</p>
<p>鶴岡 税理士 YAHOO!で検索</p> <p>http://www.konnokaikai.net</p> <p>紺野税理士事務所</p> <p>山形県鶴岡市太西町11-16 税理士 紺野 修(昭和60年卒)</p>	<p>菅原税理士事務所</p> <p>税理士 菅原 幸生 (昭和56年卒)</p> <p>東京都千代田区外神田6丁目2番10号 アイエフ外神田8階 TEL 03-5807-3501 FAX 03-5807-3502</p>
<p>alico Japan</p> <p>大泉 正 (85回卒)</p> <p>(日本ファイナンシャルプランナーズ協会会員 No.903235)</p> <p>アリコジャパン</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-1-1 AIG日本橋本町ビル4階 TEL 03-5203-5871 FAX 03-5202-9006 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3</p>	<p>榎本公認会計士事務所</p> <p>公認会計士・税理士 榎本 堯 (63回)</p> <p>〒180-0022 東京都武蔵野市境5-7-2-102 TEL 0422-52-2253 FA X 0422-56-0730 http://www.enomoto-cpa.musashino.tokyo.jp</p>

## 母校・ふるさとに感謝！



第40回 東京鶴翔同窓会 実行委員長 小鷹 光雄 (昭和40年72回卒)

40年卒の年度幹事を務めていた関係から、昨年からメンバー集めと主だった方々に実行委員長になってもらうよう根回しをしていたのですが、結局私に実行委員長の役が回つてしまいました。40回記念となる節目の年の東京鶴翔同窓会ということで責任の重さを感じております。今年のテーマは「母校、ふるさと、みんなにありがとう」：翔べ40年の歩みとともに！」私は、裏の畑から鳥海山、月山が

一望に見渡せる旧藤島町の農家で十八歳まで暮らしました。今にして思うと、子どもの頃に多くの動物を育てた体験と、雄大な自然環境に囲まれ、のびのびとした庄内人に育てられたこと、高校時代に出会った先生方、同級生が、私の生き方や性格考へ方に大きく影響していると考えています。東京の電機会社に三十八年間勤務し六十歳で定年退職しましたが、その間毎年かかさず故郷に帰ったのも、親・兄弟に顔を見

せたいという思いの他に、故郷の景色見たさや、なつかしい田舎料理を食べたい思いが強かったからです。東京暮らしでは味わえない故郷の良さを知っていること、何歳になっても毎年帰りたいと思ひ続けることが出来るということは、自慢でもあり誇りです。

今年の同窓会では、「化け物姿」でのお出迎えや、鶴岡からやってくる県無形文化財の「湯田川神楽」を見るのが出来ます。また庄内の銘酒も多く用意していますので、母校・ふるさとに感謝し、庄内弁で大いに語り合おうではありませんか。

## 自然と文明



第39回 東京鶴翔同窓会 実行委員長 相馬 省記 (昭和39年71回卒)

もう同窓会会報の原稿を書く時期になったのかと、一年の経つ早さに驚くと同時に、40回記念号となる同窓会の歴史の重さを感じているところだ。

「ふるさと」は遠きにありて思うものが自分の現状ですが、この機会に、ふるさとについて考えてみました。

人間社会は、文明の発達と共に、色々なるものを発明して生活は豊かになつていますが、同時にエネルギーを大量に消費しています。

エネルギーを作り出すために大量の温暖化ガスを排出しています。現実には、地球温暖化のため、海面上昇により、国土が海に沈んで、将来、国家の存続が危ぶまれている国もあるようです。

鳩山首相が、温暖化ガスの25%削減を国連で表明しました。もちろん、温暖化ガスの削減は賛成なのですが、いざ実行となると心もとないような気がします。

太陽電池発電、風力発電、バイオマ

ス燃料の使用、ハイブリッド型等のエコカー、燃料電池の使用等色々考えられることはあるのですが、これだけで本当に大丈夫なのだろうかと言う気がします。立ち止まって考えてみると、物質的な豊かさが、必ずしも心の豊かさに繋がっていないという現実があります。

物は無くても、心の中に豊かさが感じられるような、そんな生活にしたいものだと思っています。

我が故郷、自然豊かな庄内のように、自然により近いところで生活できる喜びが大事にされるような、より自然に近い生活スタイルが好まれるような、そんな社会が理想のように思えるのです。

<p>地元で育まれ102年 これからも丹精込めて皆さまのもとへ</p> <p>手造りの味 つけもの処 本長</p> <p>〒997-1124 山形県鶴岡市大山1-7-7 フリーダイヤル 0120-330-878 フリーダイヤルFAX 0120-033-870 http://www.k-honcho.co.jp</p> <p>鶴岡駅前 本長商店 TEL0235 (22) 0616</p>	<p>だだちゃ豆の美味しさを産地「鶴岡」から全国へ</p> <p>JA 鶴岡 Webショップ</p> <p>http://www.dadacha.jp</p> <p>JA 鶴岡 特販課 〒997-0052 山形県鶴岡市寛岸寺字水上199 TEL : 0235-29-9850 / FAX : 0235-29-2862</p>
<p>庄内の大地で永遠の食料生産の仕組みを考える</p> <p>有限会社 月山パイロットファーム</p> <p>〒999-7634 山形県鶴岡市三和字堂地60 Tel 0235-64-4791 Fax 0235-64-2089</p>	<p>安心、快適を乗せて毎日運行。</p> <p>好評 運行中! バス 上京 帰郷</p> <p>それぞれのシーンにバスが便利!</p> <p>高速バス 夕陽号</p> <p>庄内交通 チケットの 鶴岡 TEL.0235-24-7600 お申し込みは 酒田 TEL.0234-24-7600</p>
<p>日本一のブルーベリー園 羽黒に誕生</p> <p>月山高原 鈴木ブルーベリー農園</p> <p>月山の恵みをいっぱいいただき9千本ものブルーベリー達が元気に育んでおります。是非一度御越し下さいませ。</p> <p>月山高原 鈴木農園 ブルーベリー農園</p> <p>羽黒町上野新田字上台80 TEL&amp;FAX0235-62-4042 www.suzukihaguro.com</p>	<p>板蕎麦 炭火焼料理</p> <p>大松屋</p> <p>大松屋本店 TEL. 03 (3571) 7053 大松屋蔵店 TEL. 03 (3574) 4200 酒田生石 大松家 TEL. 0234 (94) 2617</p> <p>地図: 二重、数寄屋橋、晴海通り、ソニービル、1丁通り、みゆき通り、外通り、西通り、大和屋本店、大和屋蔵店、交差点、交差点</p>



演劇活動をしながら、ラゲビー部の勧誘を受けたのは、十五人を集める為の人数合わせ。当時庄内には、鶴工・酒商と我校の三チームしかなく何時も負け試合だった。全力突破を心情に心臓が破れそうな苦しい思い出は、只々お疲れ様の深呼吸だった。

しかし、演劇活動では創立記念や秋の文化祭などに駆けずり回ったことは勿論だが、本校を舞台に中学校の演劇コンクールを二回開催した。『南高等学校校長賞』を笹

原校長に請願し贈呈してもらった。「励みになる」と好評だった。校舎の火災等悲しい事もあったが、小学校（押切・山添・京田）や公民館（大山・鶴岡）などに巡回公演を展開した事は、部活を逸脱した校外活動だったが、向こう見ずの部活を見守ってくれた学校の理解と先輩達の協力や指導のお陰の思い出として感謝している。

以前の鶴翔会は、面識も浅く興味も薄かった。しかし、数年前「所属部活」に関するアンケートがあり、

これにヒントを得て、「部活」の記録作りを考えた。資料集めに先輩を訪ね親切丁寧な協力とご指導を頂き、鶴翔会への興味が一気に開眼した。首都圏は勿論、鶴岡や山形などにも出かけ、先輩にお世話になりながら二十年六月未熟ながら「演劇活動記録集」を完成した。絆の結集である。鶴翔会総会は十年毎輪番制なので、今年は昭和四十年卒業を中心に五十年・六十年及び三十年卒が担当している。IT機器を駆使して進行する会議の運営には若い世代の栄智を体感し、パソコン音痴の馬齢は、手足惑いにならない様に頑張りたい。此処でも新しい絆の発見である。若い世代に感謝感謝。

医療法人社団  
**三浦産婦人科医院**  
三 浦 宏 平  
鶴岡市朝陽町4-10  
TEL0235(22)0228  
http://www6.ocn.ne.jp/~lcmiura/

医療法人 **石原小児科病院**  
石 原 融  
〒997-0032 山形県鶴岡市上畑町3番23号  
電話 0235(24)8213 FAX 0235(25)6083

整形外科・形成外科・内科・美容皮膚科・美容形成外科  
**美咲クリニック**  
**美咲アンチエイジングセンター**  
医学博士 今 野 俊 幸 (S41年卒 73回生)  
美咲天然温泉（掛け流し）・足湯あり  
山形県鶴岡市美咲町25-5 TEL.0235-23-7633 http://www.misaki-mc.com/

合併後、住所・東田川郡藤島町大字藤島字笹花が、鶴岡市藤島字笹花と半になる。

鶴引町出身の佐藤雄能・正能の両先生が、親子二代に亘って監督を務められた東京・駒込の学生寮・財団法人荘内館に、母子家庭の私は、昭和四十年四月から四十四年三月迄の四年間入寮した。二人の東京弁の寮母さんがおられて、朝夕二回の食事の世話、館内・トイレの清掃をして下さいました。日曜日の夕食は、カレーライスが定番で、時々の日曜日には寮母さんが揚げた大きな豚カツが出て、揚げたてで美味しかった。同じ釜の飯を食べる大学一年生から四年生迄の約四十五名は、草鞋（わらじ）と言いました。

まず、大先輩は、荘内館理事・中村信雄様、一昨年に建替え・改組になった新・駒込学生会館理事長・加藤五郎様、荘内館監督を務められた菅原良雄様がおられます。私が薫陶を受けた二代目監督・佐藤正能先生（横浜国大教授）は、鉄筋コンクリート二階建て寮内の監督室で、夕方から夜遅く迄調べ物をしておられた。荘内館には、月額五千円の奨学金（現在の価値

で二万円位）制度があり、監督先生から毎月に新札の現金で頂いた。利息無しで、元金を社会人になってから返済しました。

次に、同居した先輩は、二年先輩に酒東出身の評論家・佐高信様、一年先輩に出版社経営・後藤広喜様、酒西校長・菅原直香様、酒東出身の鶴南校長・堀清一様がおられます。男子寮で、洗濯機はあったが、風呂は無く、近くの滝野川の銭湯に佐高先輩とも一緒に通いました。謙虚・真摯に「人は如何に生きるべきか」と言う哲学に向う姿勢に、畏敬の念を感じました。憎越に存じますが、辛口の政治・経済の評論は飯の姿で、真の姿は、「人は如何に生きるべきか」と言う哲学の追究にあると、及ばない後輩として勝手に思っております。

**真 島 医 院**  
真 島 吉 也 (61回卒)  
鶴 岡 市 山 王 町 3-29 TEL 0235 (25) 6668

整形外科・リハビリステーション科  
**黒羽根整形外科**  
黒羽根 洋司 (72回)  
診療時間 AM9~12・PM2~6  
日・祭日休診・木・土曜午後休診  
鶴岡市城南町6-67 電話24-9680  
(鶴岡市立第三中学校東側)

内科・外科・「デイサービスみやはら」併設  
●生活習慣病ドック ●各種予防接種  
●禁煙指導 ●がん検診 ●療養病床あり  
医療法人**宮原病院**  
〒997-0818 山形県鶴岡市三和町1-53  
TEL0235-23-3311 FAX0235-23-3314  
http://www16.ocn.ne.jp/~miyahp/

## 学年を超えた絆



五十嵐隆二  
(昭和30年62回卒)

演劇活動をしながら、ラゲビー部の勧誘を受けたのは、十五人を集める為の人数合わせ。当時庄内には、鶴工・酒商と我校の三チームしかなく何時も負け試合だった。全力突破を心情に心臓が破れそうな苦しい思い出は、只々お疲れ様の深呼吸だった。

しかし、演劇活動では創立記念や秋の文化祭などに駆けずり回ったことは勿論だが、本校を舞台に中学校の演劇コンクールを二回開催した。『南高等学校校長賞』を笹

原校長に請願し贈呈してもらった。「励みになる」と好評だった。校舎の火災等悲しい事もあったが、小学校（押切・山添・京田）や公民館（大山・鶴岡）などに巡回公演を展開した事は、部活を逸脱した校外活動だったが、向こう見ずの部活を見守ってくれた学校の理解と先輩達の協力や指導のお陰の思い出として感謝している。

以前の鶴翔会は、面識も浅く興味も薄かった。しかし、数年前「所属部活」に関するアンケートがあり、

これにヒントを得て、「部活」の記録作りを考えた。資料集めに先輩を訪ね親切丁寧な協力とご指導を頂き、鶴翔会への興味が一気に開眼した。首都圏は勿論、鶴岡や山形などにも出かけ、先輩にお世話になりながら二十年六月未熟ながら「演劇活動記録集」を完成した。絆の結集である。鶴翔会総会は十年毎輪番制なので、今年は昭和四十年卒業を中心に五十年・六十年及び三十年卒が担当している。IT機器を駆使して進行する会議の運営には若い世代の栄智を体感し、パソコン音痴の馬齢は、手足惑いにならない様に頑張りたい。此処でも新しい絆の発見である。若い世代に感謝感謝。

昨秋から、地主・太田、長江の同期諸氏につき事務局長を務めています。若い世代への橋渡しができればと思っています。よろしく願います。

帰省時急がない時、一人のときは鉄道を利用する。庄内フリー切符という便利なものもある。一月末の日曜日、往きは山形新幹線。米坂線の冬景色でまずは一杯、晴れあがつた空と純白の雪がまぶしい。米沢を出ると左右を山に挟まれ果樹畑

が多く見られる山形盆地、ところどころに大きな新しい建物も見える。後半は昔の準急の感じで停まってく。陸羽西線の客も結構多い。最上川、寒さよけの覆いをした川下りの船が見え、水墨画の風景がゆったりとひろがる。古口で七、八人が降りる。余目に着く。観光客風は鶴岡・酒田方面各々十人位か。赤川を渡る鉄橋からバグライダーを楽しむ人が見えた。鳥海山、月山は残念ながら冬雲に隠れている。

今回の帰省は、高齢の両親を励まし、一緒に暮らす弟夫婦や妹と、介護認定を受けて介護サービスを利用するなど今後のことを相談し、そして寒鰯のどんがら汁を食す、そんな目的の旅である。

復路は右側に席をとって冬の日本海をながめる。遠く粟島を背に、幾筋かの光が荒れた暗緑の海に差し込んでいた。線路の側、寒風のなか合羽を着てゲートボールを楽しむ人たちが見えた。上越新幹線はトンネルが多く単調だ。新潟で買ったお薦めの駅弁と酒をゆっくり味わうことにする。トンネルを抜けてしばらく走ると、女房の待つ我が家がどんどんと近づいてくる。

医療法人 楽生会  
**木根淵外科病院**  
〒306-0632 茨城県東市辺田1430番地  
TEL.0297-35-3131 FAX.0297-35-9792  
http://kine.jp

内科 胃腸科 小児科  
**佐藤 医 院**  
院 長 佐 藤 一 夫 (昭和40年)  
〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 1-4-16  
TEL 03-688-7460 FAX 03-3688-7419

● ● ● **むかえだ歯科クリニック**  
迎 田 洋 (昭和63年卒)  
【診療時間】 平日 9:30~12:30/14:30~19:30  
土曜 9:30~12:30/14:30~17:30  
休診日 水・日・祝日  
〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2丁目14-15 プリマ・クラスセ1F  
TEL&FAX03-3670-1774

**寒河江法律事務所**  
弁護士 **寒河江 孝允** (昭和38年卒 70回生)  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館ビル2階  
電話 03-3502-0882 FAX 03-3502-0880

**村田敏法律事務所**  
弁護士 **村 田 敏**  
東京都新宿区新宿1-5-4 YKBマイクガーデン802号  
〒160-0022 (丸の内線・新宿御苑前駅より徒歩2分)  
TEL 03-3352-5941 FAX 03-3352-6049

湯野浜温泉に泊まって「運転免許」を…  
**鶴岡自動車学園**  
代表取締役 齋 藤 征 士 (昭和37年)  
〒997-0045 山形県鶴岡市西新斎町6-34  
TEL0235-22-6200 (代)  
http://www1.ocn.ne.jp/~tsuruoka/ E-mail : tsurums@poplar.ocn.ne.jp



# 東京鶴翔同窓会 40年の歩みと思い出

平成十年は、私にとって忘れることができない二つのことが起きた年であった。

一つは、一卵性母子とひやかされたほど仲良し(う)だった母と永別したこと。喪失感想像以上に大きかった。

もう一つは、天から降って沸いたように、東京鶴翔同窓会の第七代会長に推されたこと。

これは、私にとっては勿論、東京鶴翔同窓会にとっても衝撃的なことであった。錚々たる六名の大物会長のあとに、まだ若い(比較して！)女性の私が、なぜ？

同窓会にとって、これは英断なのか、暴挙なのか。受けるべきか、辞退すべきか。いろいろな思いが交錯し、大いに悩んだ。いつの間にか母を失った喪失感が吹っ飛び、次第にこの「出合い」に賭けたい気持ち湧いてきて、結局「逃げない」ことを選択した。

就任後、予想はしていたが、風当たりが強かった。「反対」の態度を言動ではっきりと示した人もいれば、同窓会からすつと離れていった人もいた。数多くの忠告、提言、迷言もいただいた。その上、このときは、会長ばかりでなく、副会長、事務局長、荘内銀行の担

## 四十年の うちの八年



桜井 文子  
(昭和31年63回卒)

当者(事務局次長)も交代し、それまですべての実務をこなしてこられた中村信雄さんからは、「どうぞ、そちらでやつて下さい」と一任されて、まったく白紙のような状態だった。

新事務局長の地主さんと試行錯誤の二人三脚で少しずつ体制を整えていった。新たに会計監事を委嘱し、常任幹事に替えて年度幹事を充実させ、毎年の実行委員会を中心に置くことにした。最初のうちは、うるさがられないようにと実行委員会への出席を遠慮していた。しかし、初めての人も多い実行委員たちに、毎年同ビルチェーンの部分で負担をかけず、踏襲して欲しい基本理念も伝えられるよう、役員との合同会議の形式をとることにした。十年に一度とはいえ、実行委員の皆さんには相当の時間と労力をかけていただくことになる。できるだけ楽しい実行委員会となるよう心から願ってきた。楽しい実行委員会があつてこそ楽しい総会が設営される。同窓会の目的は「仲良し倶楽部」である。

波高しの船出ではあったが、東京鶴翔同窓会の四十年の歩みのうちの八年間、「カイチヨウサン」と呼ばれたことを誇りに思う。

## と “いっしょに翔ぼう みんなにありがとう”



地主 忠夫  
(昭和38年70回卒)

「この会に出席する事を楽しみに今日まで生きてまいりました」11回卒西川速水氏、第四回総会乾杯の挨拶。もうすぐ百歳になれるとは思えぬお元氣な姿でした。

「仲良し倶楽部が良い。年に一度、一堂に会し、酒を飲み、語り合う、これが目的の全て」33回卒佐藤寒山会長、役員会にて「目的は？」の問に答える。現在の副会長五人制もつと多くても「とも語られた」はこの時から。総会を待たず他界される。「良ぐ来たのう」34回卒梅津正吉副会長、初めて出席の役員会の折に声を掛けて下さる。父の二年先輩に当る大先輩。東京鶴翔同窓会との出合いです、もう三十余年もの時が経ちました。

嬉しいエピソードを。36回総会の準備中、卒業時の表記についての話し合いが持たれ、現在の様に卒年と卒回数を併記する型でまとまる。

会報36号に定時制の櫻井孝子さんが書かれた呼び掛けの文章に「平成十一年(29回)に初めて案内を頂いた」とあったので、私は、それまでの流れを説明した。「定時制卒の方に年度幹事、役員等をお願いしたが引き受けてもらえなかった。その後なかなか機会がなくお願いできずにいる」梅津会長(当時)にお聞きした話を伝え、又東京の名簿は年度幹事がその年度を取り纏める方式のため年度幹事のいない期の方々には殆ど案内の発送が出来なかった。29回総会の案内は、本部名簿との併用となり皆さんに発送可能となった。等々お話し了解していただく。

終了後駒込駅前で櫻井さんに「渡部洋さんから年度幹事をお願いしたいと云われていますが…」と聞いた時、「絶対に引き受けて下さい」定時制卒の方が実行委員の一員に、その事だけでも素晴らしいと思つていたのに、年度幹事も聞き間髪を入れずに出た返事でした。先にお話した事を十分に受け止めて下さった様でした。この回の総会には多くの定時制卒の方々が出席して下さいました。梅津元会長の願ひでもあり、28回総会テーマ「ハメをはずそう」にも籠めた想い、「全日制、定時制、通信制、一体となった同窓会」に一步近づいたかな。垣根が少しずつ低くなつて来たと感じるのは私だけでしょうか。櫻井孝子さんのご尽力にありがとう。

記念すべき、第40回総会、皆様にお会いしたいと思っております。



## 不惑を迎えた東京鶴翔同窓会

あなたはどんな思いを持っておられますか。人によってかなりの温度差があるでしょうね。

ここでは、創立から40年の間に熱い想いで関わった4人を紹介します。

## 創立の頃の思い出



中村 信雄  
(昭和18年51回卒)

26回生の平田貢先輩(鶴岡市内に在住されていた)が鶴岡中学の本部同窓会長をひきうけられるとき、御本人が堅くつけた条件が、(一)東京に必ず同窓会ができること、(二)その名称に支部という言辞は使用しないで、必ず独立性のあるものにするというこというものであった。私は平田さんには私淑していたし、東京や東京周辺に同窓生が沢山居ても、集合するには、呼びかけ人の名称がはつきりしないので不便極まるものだったので、東京に我が同窓会ができることは大賛成であった。

こうして昭和四十六年十月八日、東京鶴翔同窓会が誕生した。人材が豊富で役員人事は不自由が無かった。初代会長は23回生の田倉八郎氏、位人身を極めたとも言える日本官僚のトップ、六年間。二代目会長は、日本刀剣会の大御所33回生の佐藤貴二氏(病気で二年

間だけ)、三代目は世界ドイツ文学の至宝相原守峯氏で四年間、次いで34回生の梅津正吉氏八年間、42回生の相馬辰夫氏、同じく42回生の田中浩氏とつながった。

私は数多くの高等学校、中学校に触れているが、我が南高のロケーションは群を抜いて素晴らしいと思つている。歴史的にも風景的にも鶴岡城跡の鶴岡公園が隣接するが、いつ行つてもこの公園は、春夏秋冬美しい。我が恩師、菊池安郎先生が謳いあげた第二校歌の通りである。南國に育つたのに、この四季の歌詞は拔群であると思う。寒風吼ゆる老杉や、天目暗く鳴りやまず。狂瀾騒ぐ明け暮れを内なるものに培いて云々…。菊池先生は鶴岡には僅か二年半しか居なかつたのであるが、文才も並外れた人であつたと思う。先生の家は長男しか、小学校以上には進学しないことになつてた由であるが、兄さんが病死したので二十才のとき、中学三年生に編入。四年終了で水戸高等学校、次いで東大文学部英文科に進学した人。私はこの先生を人生の師とも思い、尊敬している。得難い先生だつたと思つている。

東京鶴翔には学者の先生がいて、我々のときは若波書店から孟子の註釈を出して好評だつた小林勝人先生(國文学者、福島出身)が菊池先生と同様同学年のクラス担任をされていて好対をなしていた。(平成二十二年二月二十二日)

## 五十二回生の 思い出



青柳 恵一  
(昭和18年51回卒)

私たちは旧制鶴岡中学時代昭和十三年から十八年まで五年間でした。時代は日中戦争から太平洋戦争さ中文字通り戦中派です。

思い出の一つは英語教師の佐藤義三郎先生通称ギッチャです。先生は大正十四年卒三十三回生の先輩でもあり、在校中は野球の名サードとして活躍されました。授業の合間に語るギッチャの野球談義に私たちは興味津々聞き入つたものでした。そして先生はたしか二三年前生の時のクラス担任でもありとても身近かな存在でした。

そのギッチャに約半世紀を経て東京鶴翔同窓会総会で再会したのです。先生は既に教職を離れて傘寿の好々爺。鶴翔同窓会本部の事務局長としてのご来賓でした。戦後初の再会で私は懐かしさのあまりギッチャの手を固く握りしめて「しばらくです。私を判りますか」「判りますよ。アンタ、昔と比べてフケタのー」

そりやそうだ、十八歳で別れてこの時は六十過ぎのじいさんでしたからね。

私が東京鶴翔同窓会に初めて出席したのがたしか第十八回の総会でこの時ギッチャに再会したのです。

それまで私は長年商社の海外勤務で同窓諸兄から「アイツは死んだか」と噂されるほどご無沙汰でした。それが定年を迎えて古里の日刊紙荘内日報東京支局をお手伝いすることになり、また東京鶴翔同窓会では総会実行委員長のオハチが回つてきたり。手元に残る記録を見たら実行委員長は第十九回でした。今年が四十回ですからもう二十年も昔です。

この原稿を書くに当り参考にと会誌「鶴翔第十九号」を見たら何とギッチャの寄稿が載っていました。題して「感激の逆転優勝」佐藤義三郎です。舞台は大正十三年県下中学校野球大会で鶴中と米工の決勝戦：八回を終わつて4対5で米工リード：九回鶴中最後の攻撃で、一番打者ギッチャの必死の奮打もショートゴロでダメかと天を仰いだら相手がエラー：ここから鶴中の猛反撃が始まり7対5で優勝：とありました。その息詰まる決戦記は日本シリーズさながらの素晴らしいギッチャの名文でした。

顧みますと親兄弟甥親戚は皆同窓：母校の長い歴史と伝統に乾杯です。



82期の皆様こんにちは。理数科に居りました今野です。昨年まで鶴翔会に参加しています82期は私と林みささん一人という寂しい状況です。東京に出てはや三十五年、庄内で過ごした時間を遥かに越してしまいましたね。鶴翔会で懐かしい庄内弁で語ったり諸先輩・後輩と楽しい時間を是非持ちましょう。お付き合いの輪が広がりますよ。今年私は年度幹事となりまして庄内日

まんずあづまれ  
八十二期



今野 りつ  
(昭和50年82回卒)

報(代表は同期の橋本氏のホームペーに日参したり庄内文化(食・祭を検索したりと庄内ワールドに浸って居ります。実はバケモノ祭を一度も見た事がなく今回イベントの環境でも有ります仮装をとても楽しみにしています。自らバケとお待ちしています。来賓には私達が倫理を教えて頂いた菊地先生が来られた年もありました。体育担当の斎藤先生とは「スカートが長いって叱られま

入学期もなく、重厚で薄暗い講堂や柔剣道場に校風のようなものを覚えた記憶があります。今は跡形もなく、夏合宿でシャワー代わりに飛び込んだプールが少年期の皮膚のかゆさを想起させるくらい。ただ「正門を出た堀端の情景を目にする」と



脳は時空を超えます。城下町の佇まいをもう少し醸し出せないか。最近、鶴ヶ岡城を思い描く話題が出ています。そんな中で昨年、経済団体の日帰り研修で初冬の白石市を訪ね、跡形もなかった城を復元させた取り組みを見聞してきました。吉永小百合さんが小雪舞う中で温麺を召し上がる「R東日本のCMの舞台です。

人口約四万人の城下町を挙げて市民募金を始め、八年後の平成七年に木造の天守閣や大手門ができ、開館後十年間の入館者は延べ約百万人。

時空を超える  
お堀端



橋本 政之  
(昭和50年82回卒)

東京鶴翔同窓会報が40回記念号の今年、南高入学の「十五の春」から四十年がたちました。「ドッペル」こ

とで四年間の高校生活でしたから入学と卒業がずれて二期にわたる同期生がおり、このごろは何かと得な思いをしています。

入学期もなく、重厚で薄暗い講堂や柔剣道場に校風のようなものを覚えた記憶があります。今は跡形もなく、夏合宿でシャワー代わりに飛び込んだプールが少年期の皮膚のかゆさを想起させるくらい。ただ「正門を出た堀端の情景を目にする」と

国の事業や政治力の巡り合わせもあり総事業費は数十億円規模。天守閣からの眺望は在来線駅の向こうに東北新幹線白石蔵王駅、振り返れば東北自動車道が走り、そして空港も近い。しかし、仙台経済圏というだけで実現できたわけではなく、「城下町に生まれ、城下町に育った人々の心の拠り所」というリーダーや市民の思いが原動力だったようです。

鮮やかに黄金色づく田の面十里ながめ豊かなり庄内平野 酒井忠明 第十七代「並三」の「豊かなり庄内」の願いは多くの人たちに引き継がれています。そのシンボルがあつてもよいのではないのでしょうか。まず「億円規模で本丸御角櫓の再建を目指せないか」という構想も持ち上がっています。

したねー」等と恩師と昔話を楽しみました年もございました。庄内の美味しいお酒を酌み交わしましょう。私達も髪に霜が降りホウレイ線があととなりましてこの日一日はあの頃へタイムスリップです。校歌を歌えば鶴岡公園の池や当時通った喫茶店「檸檬」夕暮れの部室が蘇ります。

あの頃汽車通学の羽越線はD51でした。フォークソングは学生街の喫茶店なんて歌ってましたね。オメガタ・マンズ・アツマレ・デ・バシヤ・ノ・ンデ・「鳳嶺月峯」ウタワネ・バナ・ンネン

私達を育ててくれた庄内に感謝、感謝！

信頼の構築  
**石橋不動産 株式会社**  
代表取締役 **石橋 政士** (昭和45年(第77期) 卒)  
〒997-0015 鶴岡市末広町13番1号  
☎ **0120-81-5411**

**TAKAHATA WINERY**  
JR 高畠駅より、徒歩 10 分 / 無料試飲 / 見学自由  
**高畠ワイン株式会社**  
山形県東置賜郡高畠町豊野2700-1 TEL. 0238(57)4800  
至極の極上甘ロワイン「まほろばの貴婦人」

高級中国酒なら「新生交易」にご注文下さい。

紹興酒、五糧液、茅台酒、くこ酒、桂花陳酒  
**新生交易株式会社**  
代表取締役会長 **松下 善輔** 販売担当部長 **阿部 良一** (昭39年卒)  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-10-11  
**TEL:03-5695-7761 FAX:03-5695-1020**  
<http://www.rakuten.co.jp/shinseikoeki.co.jp>

地域未来創造企業  
**鶴岡建設 株式会社**  
代表取締役社長 **本間 敏英** (69回卒)  
本 社 ■山形県鶴岡市泉町5番41号  
TEL. 0235-22-4511 (代) FAX .0235-24-3240

木製建具・特注家具  
一個人住宅・店舗等の企画設計から施工迄ー

**有限会社 山内木工所**  
代表取締役 **山内 正彰** (S57年卒.89期)  
本社 / 〒997-0814 鶴岡市城南町4-17 URL <http://www.yamamoku.co.jp/>  
事務所・工場 / 〒997-0334 鶴岡市丸岡字鳥飼37-21  
TEL **0235-78-7645** FAX **0235-78-7648** EMail:yamamoku@jan.ne.jp

技術に定年なし、“生涯現役”の元気集団  
求む 定年退職者！

**株式会社 フレッシュシックスオー**  
取締役社長 **齋藤 輝峰** (昭40年卒)  
〒210-0807 川崎市川崎区港町5-1 港町ビル3F ☎ 044-210-1342  
鹿島事業所 ☎ 0299-96-6716 筑波事業所 ☎ 029-887-3148

庄内へお越し  
ください



酒井 忠久  
(昭和40年72回卒)

第40回東京鶴翔同窓会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。「母校、ふるさと、みんなにありがとう」のテーマは、まさに私の心境でもあります。私が携わる致道博物館事業に対して、日頃の鶴翔同窓会の皆様の心強いご支援・高配に、大変有り難く厚くお礼を申し上げます。平成二十一年十二月に致道博物館の旧鶴岡警察署一棟が重要文化財に指定さ

れました。建造物については、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅をあわせ三棟の国の重要文化財を維持保全することになりました。この機会に致道博物館再整備をはかるべく計画を練っているところ。昭和四十一年四月に発足した致道博物館東京友の会は、毎年同窓会の皆様のご協力をい



ただいて最近姉妹都市江戸川区で開催いたしております。開会後は、それぞれのグループで、ミニ同窓会となります。懐かしい母校の話、庄内の話などなど学生時代にもどったような楽しいひとときをすごしております。この会で藤沢周平先生からご講演いただいたことを今は懐かしく思い起こします。今年、は、鶴岡市に藤沢周平記念館が開館します。大勢の藤沢ファンを大歓迎したいと思っております。食の庄内、そしてくらげの加茂水族館、映画村や街中映画館と話題の多い庄内です。どうぞふるさと庄内へおこしください。最後に東京鶴翔同窓会の皆様の益々のご活躍・健勝を心より祈念申し上げます。

「忘れまい」と  
心に刻む



犬塚 恒士  
(昭和40年72回卒)

鶴岡から荷物を送ったという知らせが届くと自然と心がなごみその日を待つ。

土づくりから始まり春の植付けそして炎天下での手入れの成果「だだちゃ豆」。吹雪の荒れる海の中、命懸けの漁で捕る「寒ダラ」「ハタハタ」「岩のり」。

雨の日も風の日も休まぬ手入れの成果の「庄内米」、そして数々の銘酒。「庄内柿」「民田なす」「温海かぶ」「笹巻き」「もつてのほか」：等々、金峰山や月

山などの山々からの水、風、太陽の恵みを受け、それぞれの産業に携わる多くの人々の黙々とした努力と熱意と汗の結果が素晴らしいものを育てている。先人は、後世の郷土を思い、人づくりに力を注いだ。それは藩校であり、道場であり家訓にもあらわれ、各戸や郷土の習わしにもみられる。「鶴岡南高」の前身、旧制中学校ができるとき、鶴が岡城址のすぐそばに学校を設立した人々の思いそして学校

に寄せる期待にはまさに頭の下がるものがある。庄内を離れ数十年。山、川、田畑：等々を思い、庄内の味を懐かしみ、校歌と友に励まされ故郷を思う日々の中、その集約としての「鶴岡南高」そして母校をここまで育ててくれた多くの先人・先輩に心から感謝。表舞台に立たず、黙々と陰になつて気高くしつかり支えている、そういう脈々と伝える庄内の心、南高の意気に改めて敬意と感謝の念しきり。「忘れまい」庄内の心を、産業を、人を育てた先人・先輩の努力と期待を。

鋼板、ステンレス、総合加工 (切断、曲げ、切削、溶接)

**株式会社 庄内シャーリング**  
代表取締役 **池田 恭平** (29年61回)  
■本社・本社工場 〒999-7611 東川田郡藤島町大字上藤島字上川原80  
TEL **0235-64-3600** FAX **0235-64-3700**

世界の銘木を求めて

**株式会社 岩浪木材センター**  
代表取締役 **岩浪 春吉** (昭和30年)  
**岩浪 智恵子** (昭和28年) **新川 一枝** (昭和54年)  
本 社 山形県鶴岡市藤浪3丁目9-5 **TEL (0235) 78-2377**

**ABELL SOUND アベリ スタジオ**  
<http://www.studioabell.com>  
アベリⅠ TEL・FAX048-474-7511 埼玉県朝霞市浜崎1-3-10 AX-1ビル3F  
アベリⅡ TEL048-473-1269 埼玉県朝霞市東井町1-3-9 イーストアレイビル1F  
☆入会時1時間スタジオ料金無料サービス中！ (東武東上線朝霞台駅、JR武蔵野線北朝霞駅)  
☆8室のスタジオは機材充実!! スタジオアベリ 佐伯 千恵子 イナ会々員

産婦人科 内科 心療内科

**秋山クリニック**  
院長 **秋山 康夫**  
秋田県湯沢市表町4丁目11番16号  
TEL : 0183-72-1735 HP : <http://akiyamac.net>

胃腸科 内科 肛門科 外科 整形外科


**南光台 伊藤クリニック**  
院 長 **伊藤 賢司** (昭和40年卒 72回生)  
〒981-8002 仙台市泉区南光台南2丁目4-22  
TEL(022)252-1234 FAX(022)252-5121

胃腸科・呼吸器科

**ユニット・ワン 外科 クリニック**  
院 長 **佐藤 正典** (72回)  
〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵3-11-3  
(ユニット・ワンビル2F)  
**TEL 048(865)0929 FAX 048(865)0930**



イベントのご案内



“湯田川温泉神楽”

山形県無形文化財

山田洋次監督の映画「たそがれ清兵衛」のお祭りシーンにも登場した、我がふるさとの湯田川温泉神楽が出演します。滑稽な仕草のひょっとこを魔の津神に見立て、獅子がこれを退治することで邪悪を払い、罪・けがれを清めるという古くから伝わるもので、徳川三代將軍家光公の時代より盛大になった里神楽です。湯田川温泉神楽保存会の皆さん10名においてを願っておりますのでご期待ください。

“化け物祭り”

編み笠姿の化け物が受付や会場でお迎えます。当日化け物姿になってみたい方は、参加申し込みハガキにその旨ご記入ください。

産直コーナー

JA鶴岡のご協力により、庄内鶴岡の味覚、特産品販売コーナーを会場に設けます、懐かしいあの味、この味、思わず手にとりたくなるふるさとの味、皆様のお越しをお待ちしております。

JA鶴岡協賛  
冷凍だだちゃ豆

皆様のテーブルに、夏には欠かせないだだちゃ豆（冷凍）を提供！  
話も一段と弾むことでしょう。

鳥海山系の水を使用した永年の伝統と技術の結晶  
ふるさとの味  
一串いかが！ 玉こんにゃく

第39回東京鶴翔同窓会総会・懇親会収支決算書  
(平成21年1月1日～12月31日)


(1) 一 般 会 計		(単位：円)	
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期より繰越	599,312	総会費支出	2,426,936
総会費収入	1,608,000	事 務 費	1,282,266
年会費収入	1,078,000	(印刷費)	697,200
広告費収入	1,372,000	(通信運搬費)	475,980
雑収入等	274,250	(旅費交通費)	20,000
(祝い金)	160,000	(雑 費)	89,086
(役員会臨時会費等)	114,000	会 議 費	535,180
(預金利息)	250	広 告 費	21,000
特別会計繰入収入	0	ホームページ管理費	10,895
		その他祝い金	120,000
		特別会計繰入支出	0
		次期繰越金	535,285
合 計	4,931,562	合 計	4,931,562

一般会計 次期繰越金内訳	
現 金	3
郵便振替（口座残高）	91,632
普通預金・荘内銀行	113,562
普通預金・三井住友銀行	88
仮払金（次年度実行委員会前渡金）	330,000
合 計	535,285

(2) 特 別 会 計		(単位：円)	
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期より繰越	2,261,065	一般会計繰入支出	0
預金利息	5,774	次期繰越金	2,266,839
		(普通預金)	0
一般会計繰入	0	(定期預金・荘内銀行)	2,261,065
		(預金利息)	5,774
合 計	2,266,839	合 計	2,266,839

本会の収支決算について、厳正に監査を実施したところ、その執行は適正であると認められます。  
平成22年4月1日  
会計監事 村田 敏


年会費（維持会費）納入は郵便局の  
機械振込（ATM）で!!  
手数料は40円違います



株式会社 e-ソリューション・クリエイティブ  
e-Solutions Create Corporation


事業内容  
①ITC事業&セキュリティ事業 ②プラント事業 ③経営コンサルティング

代表取締役社長 成澤 正幸 (73回)  
〒102-0082 東京都千代田区一番町22番地1 一番町セントラルビルディング  
電話：03-5276-9010 FAX：03-5276-9009  
URL: http://www.escc.jp



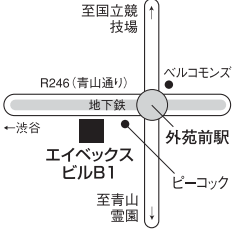
みんなで創る山形イタリアン  
YAMAGATA  
San-Dan-Delo  
ヤマガタ サンダンデロ

〒104-0001 東京都中央区銀座1-5-10  
ギンザファーストファイブビル2F  
山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」2F  
tel.03-5250-1755 fax.03-5250-1756




美濃屋文右衛門そば  
南青山店 (avexビル内)  
「有賀孝子」(鶴岡出身)

東京都港区南青山3-1-30 エイベックスビルB1  
TEL.03-5414-0844



こ こ ふるさと  
いつも紙面に故郷がある  
地方郵送承ります



山形日報


http://www.shonai-nippo.co.jp/  
本社/〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 ☎0235-22-1480(代)  
酒田支社 ☎0234-22-4244 山形支局 ☎023-622-4519 東京支局 ☎047-341-4872

祝第40回東京鶴翔同窓会

出版・編集・DTP・校閲校正  
株式会社 アドリブ

代表取締役 伊藤 豊 (77回)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目11番9号  
TEL 03-3511-6055 (代) FAX 03-3511-6056  
URL: www.ad-lib.co.jp E-mail: ito@ad-lib.co.jp



株式会社 スタジオ・オクト

代表取締役 野 間 耕 治 (昭和46年)


東京都渋谷区代々木3-2-7-402  
TEL 03-5351-9201 FAX 03-5351-9205  
E-mail oct@st-oct.com  
商業建築デザイン・インテリアデザイン

平成22年4月28日 発行

鶴 翔 第40号

(12)

『母校の先輩、後輩  
に後押しされて』




渡辺 智史  
(平成11年106回卒)

昨年の東京鶴翔同窓会で、私が初めて監督したドキュメンタリー映画『湯の里ひじおりー学校の最後の一年』の宣伝をさせていいただきました。山形県大蔵村の山奥にある肘折温泉の小中学校が閉校するまでの年を記録した映画です。おかげさまで江東区文化センターの上映会に三日間で七百名以上の来場者数がありました。その後、群馬、大阪、神奈川、千葉、山形で上映されました。とりわけ印象的

だったのは、母校の鶴岡南高等学校での上映会です。鶴翔会館に六百人の全校生徒がみつちりと座って上映会が行われました。華やかなメジャーな映画でない、この映画を高校生がしっかりと観てくれるだろうかという不安がありました。しかし上映が始まると笑い声や感嘆の声が聞こえ、上映後には元氣な笑顔がありました。アンケートには、「いつかは鶴岡に帰って来たい」「進学後、鶴岡を離れても故郷の

ために何かしたい」という、それぞれの思いが綴られていました。肘折温泉の出来事を、自分たちの身に置き換えて観ていたのです。高校生の素直な感受性に出会い、十年前の自分を思い出していました。高校時代にお世話になった、国語の石田孝先生が上映会を準備してくださいました。「教え子が、卒業生が活躍しているのが何よりもうれしんだ」というあたたかい言葉が忘れられません。現在私は、故郷の鶴岡を拠点に次回作を準備しています。テーマは『食』で、山形に昔から伝わる野菜や、穀物を守り続ける人々を追ったドキュメンタリー映画です。

ふるさとの風景



河野 晃  
(昭和53年85回卒)

鶴岡南高校から山形大学農学部に進学し、卒業と同時に仕事の関係で故郷を離れ、早や二十八年が過ぎました。今日まで、地元での勤務はなく、盆や正月の帰省だけが、故郷とのつながりのようになっしまいました。


それでも、最近では、映画のロケ地としてや地元の産品を活かしたイタリアンレストランなどうれしい話題に接することが多く、庄内人としてはうれしにかぎりで

すが、私にとつての庄内は、月山や庄内浜、季節ごとに違う表情を見せる庄内平野と、本当に素晴らしい風景を持った故郷であり、帰省して、その風景に包まれるたびに、自分のアイデンティティは、この風景の中で育まれたんだなということを実感します。

これまで仕事の転勤で暮らした町も、南は岡山県の津山市から、北は津軽半島にある蟹田町（現外ヶ浜町）と、八箇所を数えます

が、お世辞抜きに、庄内が一番であると思っている今日この頃です。（親馬鹿ならぬ故郷馬鹿でしょうか。）そんな庄内に生まれ、多くの人たちに支えていただいたことが、今日、私が曲がりなりにも社会人として、そして人の親として生きていくことができているのだと思うと、まさに「母校、ふるさと、みんなに、ありがとう」という気持ちでいっぱいです。

そんな故郷への思いをテーマに開催される第40回東京鶴翔同窓会総会の盛況を心から祈念しております。幹事の皆様、本当にご苦勞様です。



水処理プラントの専門メーカー  
鶴岡工業株式会社

代表取締役 倉田 正

大森本社 〒143-0013 東京都品川区南大井3-16-3 オフィスベルメイト4F  
TEL (03) 5767-6233 FAX (03) 5767-6234  
工 場 〒143-0003 東京都大田区京浜島2-16-7  
E-mail info@tsuruokakogyo.com URL http://www.tsuruokakogyo.com

日本ポリプロ株式会社


代表取締役社長 阿 部 正 浩  
(昭和40年卒 72回)

〒108-0014 東京都港区芝4-14-1  
TEL 03 (6414) 4315  
FAX 03 (6414) 4367

一般建築、リホーム請負 渡部工務店

代表 渡 部 敬 一 (鶴岡出身)


〒253-0086 神奈川県茅ヶ崎市浜之郷529-7  
TEL 0467-83-3484 FAX 0467-87-1621



電子・電気・機械部品 取扱  
香取物産株式会社

代表取締役 会長 上野 識 (52回)

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-4-2  
TEL 03-3256-9581 (代) FAX 03-3258-1430、1440  
E-mail: s.ueno@katori.co.jp  
海外事務所：香港・上海・深圳



COMS  
株式会社 コムズ

東京都中央区京橋3-12-1 エコー京橋ビル  
Phone 03-3562-5201 Fax 03-3562-5207 itagaki@coms.co.jp (66回卒)

・鶴岡に渋谷ハチ公像の試作品があることを御存知ですか？  
・ハチ公を世に広めた鶴岡出身の恩人斎藤弘吉との胸を打つ物語を紹介しながら郷土の誇りとして活動しています

会 長 高 宮 宏 (39卒)  
副 会 長 勝 木 正 人 (43卒)  
事務局長 黒羽根 洋司 (40卒)

鶴岡ハチ公像保存会

〒999-7601 鶴岡市藤島古橋跡58-3 TEL.0235-64-2514  
帰省された折に藤島庁舎で実物を御覧下さい



## 21年度年会費納入者名簿（卒業年次別）

～もっともっと広げよう！故郷と母校の絆～

小野田善夫	村井 正治	柴田 卓爾	渡部 昇一	伊閑 孝安	菊池 安行	半田 一郎	植木 清哉	植木 良次	伊内 仲吉	飛塚 忍	長谷川久一	佐藤 良三	富樫 泰教	齋藤 茂三	佐藤 四良	大瀬 靖一	五十嵐藤一	日向 孝吉	助川 孝吉	西田 昭治	五十嵐文夫	深河 耕作	津川 健行	旅行 伸介	尾形 昌夫	吉澤 四郎	大屋 恭士	土岐 良次	菅原 隆輔	佐藤 隆	佐藤 昭一	野沢 秀二	黒谷 正敏	上野 謙	川島幸之輔	青柳 恵一	寒河江 睦	中村 信雄	渡部 良作	波部 士郎	菅原 藤夫	原部 榮造	大澤 哲雄	西海 哲雄	阿部 玄	渡会 春雄	官村 巖	田中武次郎	高木 正雄	高木 正雄	15年	14年	11年	10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
佐藤 瑛子	佐藤信五郎	松本 直明	増田 浩子	山越 廉	佐藤 信次	橋本 信子	西 秀	石田 晋	本間 章介	藤田千榮子	佐藤 良三	野村 善吉	佐藤 誠	佐藤 幸石	横山 隆治	山口 鶴子	早川 恒子	平田 誠	柳田 輝子	齊藤 祐輔	長谷川 実	大江 久	阿部 信行	長濱 幸子	増田 幸子	諏訪 満	佐藤 俊彦	川島 協	田部井恭子	阿部 純二	窪田 騰	奥田 隆男	石井 忍	千葉 健	大滝 啓郎	石橋 幹雄	海瀬 久靖	伊藤 幸也	鈴木 幸彦	坂尾 義弘	加藤 五郎	鈴木 雄三	五十嵐正隆	重山 英明	細井 地久	野田 利男	宮野 重郎	齋藤 正	佐々木睦雄	門津 卓	稲津 淳	相馬 陶介	25年	27年	29年	31年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
長濱 良子	上原 圭子	落合 重男	武田 好子	坂本 玲子	斎藤弘鶴子	斎藤 千枝	三浦 郁也	江川美津子	大倉 弥生	大瀬 振	大塚 陽一	佐藤 博	堀本 孝夫	坂本 孝夫	佐藤 勇	佐久間美津雄	小林 明子	鈴木 二郎	佐藤 純子	茂木 勲	阿部 正	豊満 郁子	村上 文昭	阿部 正	村上 昭	村上 昭	藤滝 俊	富樫 修吾	川島 協	田部井恭子	阿部 純二	窪田 騰	奥田 隆男	石井 忍	千葉 健	大滝 啓郎	石橋 幹雄	海瀬 久靖	伊藤 幸也	鈴木 幸彦	坂尾 義弘	加藤 五郎	鈴木 雄三	五十嵐正隆	重山 英明	細井 地久	野田 利男	宮野 重郎	齋藤 正	佐々木睦雄	門津 卓	稲津 淳	相馬 陶介	25年	27年	29年	31年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
榎本 堯	佐藤 一雄	富樫 薫	磯野 国夫	佐藤 俊祐	飯塚 進	佐藤 玲子	田澤 政一	高橋 徹	高橋 徹	鈴木 清	五十嵐隆二	大川 重一	河野シゲ子	山口 武	菅原 敬子	萩原 力	石崎 種子	長崎 和子	武田 友樹	高橋 徹	阿部 文夫	石川 悌二	宮裡 美	富満 郁子	村上 昭	阿部 正	茂木 勲	佐藤 純子	鈴木 二郎	佐藤 純子	長谷川 実	大江 久	阿部 信行	長濱 幸子	増田 幸子	諏訪 満	佐藤 俊彦	川島 協	田部井恭子	阿部 純二	窪田 騰	奥田 隆男	石井 忍	千葉 健	大滝 啓郎	石橋 幹雄	海瀬 久靖	伊藤 幸也	鈴木 幸彦	坂尾 義弘	加藤 五郎	鈴木 雄三	五十嵐正隆	重山 英明	細井 地久	野田 利男	宮野 重郎	齋藤 正	佐々木睦雄	門津 卓	稲津 淳	相馬 陶介	25年	27年	29年	31年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
坂 みやゑ	鈴木あさ子	生田 俊一	佐藤 隆三	伊藤 隆義	斎藤 隆三	真嶋 美弥	鈴木 直明	近藤 秀	富樫 泰教	佐藤 良三	野村 善吉	佐藤 誠	佐藤 幸石	横山 隆治	山口 鶴子	早川 恒子	平田 誠	柳田 輝子	齊藤 祐輔	長谷川 実	大江 久	阿部 信行	長濱 幸子	増田 幸子	諏訪 満	佐藤 俊彦	川島 協	田部井恭子	阿部 純二	窪田 騰	奥田 隆男	石井 忍	千葉 健	大滝 啓郎	石橋 幹雄	海瀬 久靖	伊藤 幸也	鈴木 幸彦	坂尾 義弘	加藤 五郎	鈴木 雄三	五十嵐正隆	重山 英明	細井 地久	野田 利男	宮野 重郎	齋藤 正	佐々木睦雄	門津 卓	稲津 淳	相馬 陶介	25年	27年	29年	31年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
富樫 喜孝	坂本 紀夫	阿部 睦雄	鈴木 郁男	近藤 秀	富樫 泰教	佐藤 良三	野村 善吉	佐藤 誠	佐藤 幸石	横山 隆治	山口 鶴子	早川 恒子	平田 誠	柳田 輝子	齊藤 祐輔	長谷川 実	大江 久	阿部 信行	長濱 幸子	増田 幸子	諏訪 満	佐藤 俊彦	川島 協	田部井恭子	阿部 純二	窪田 騰	奥田 隆男	石井 忍	千葉 健	大滝 啓郎	石橋 幹雄	海瀬 久靖	伊藤 幸也	鈴木 幸彦	坂尾 義弘	加藤 五郎	鈴木 雄三	五十嵐正隆	重山 英明	細井 地久	野田 利男	宮野 重郎	齋藤 正	佐々木睦雄	門津 卓	稲津 淳	相馬 陶介	25年	27年	29年	31年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
上野 幸一	高宮 守男	黒羽根根子	大塚 祐二	青木 哲司	遠藤 裕光	丸山 正俊	堀 佳雄	渡部 庄一	斎藤 義彦	金内 彰	黒田 俊男	上林 正巳	菅原 通敬	後藤 弘喜	土井征一郎	菅原 仁	忠鉢 純子	伊藤 進	小野 啓二	寒河江孝允	斎藤 淑人	三浦 信次	上野 藤吉	伊藤 豊	坪井 真理	杉山 恵子	黒川 俊美	梅津 準士	岩城 清一	滝沢 潤	土岐 紀子	兼子 久	小鷹 光雄	成田 仙一	渡会 俊祐	鈴木 育	石和 俊郎	福原 正和	地主 忠夫	中西 良弘	太田 文子	尾形 文子	芳賀 俊郎	岡田 睦	佐藤 征洋	古村 一枝	佐藤 寛	前島 京子	佐藤 敏哉	相馬 省記	菅原 克己	五十嵐耕三	坂本 誠	42年	44年	46年	48年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
佐藤 潔	佐藤 秀子	舌津 一良	石井 直子	佐藤 孝子	高田 正幸	高橋 三郎	斎藤 義彦	金内 彰	黒田 俊男	上林 正巳	菅原 通敬	後藤 弘喜	土井征一郎	菅原 仁	忠鉢 純子	伊藤 進	小野 啓二	寒河江孝允	斎藤 淑人	三浦 信次	上野 藤吉	伊藤 豊	坪井 真理	杉山 恵子	黒川 俊美	梅津 準士	岩城 清一	滝沢 潤	土岐 紀子	兼子 久	小鷹 光雄	成田 仙一	渡会 俊祐	鈴木 育	石和 俊郎	福原 正和	地主 忠夫	中西 良弘	太田 文子	尾形 文子	芳賀 俊郎	岡田 睦	佐藤 征洋	古村 一枝	佐藤 寛	前島 京子	佐藤 敏哉	相馬 省記	菅原 克己	五十嵐耕三	坂本 誠	42年	44年	46年	48年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
今野 りつ	坂垣 隆	石井 康博	登坂 恵理	佐々木晶子	高田 正幸	高橋 三郎	斎藤 義彦	金内 彰	黒田 俊男	上林 正巳	菅原 通敬	後藤 弘喜	土井征一郎	菅原 仁	忠鉢 純子	伊藤 進	小野 啓二	寒河江孝允	斎藤 淑人	三浦 信次	上野 藤吉	伊藤 豊	坪井 真理	杉山 恵子	黒川 俊美	梅津 準士	岩城 清一	滝沢 潤	土岐 紀子	兼子 久	小鷹 光雄	成田 仙一	渡会 俊祐	鈴木 育	石和 俊郎	福原 正和	地主 忠夫	中西 良弘	太田 文子	尾形 文子	芳賀 俊郎	岡田 睦	佐藤 征洋	古村 一枝	佐藤 寛	前島 京子	佐藤 敏哉	相馬 省記	菅原 克己	五十嵐耕三	坂本 誠	42年	44年	46年	48年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
以上559人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

## 第39回 東京鶴翔同窓会総会 出席者一覧

S.15年	渡會	春雄	29年	池田	初子	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年	相馬	和彦	6年	本間	純子	5年	小田	里子
29年	池田	初子	29年	五十嵐	豊雄	18年	宮崎	富哉	17年	青柳	恵一	16年	中村	信雄	15年	寒河江	睦	14年	土岐	良次	13年	吉澤	四郎	12年	皆川	健行	11年	五十嵐	文夫	10年	尾形	昌夫	9年	富樫	泰次	8年	伊東	良教	7年	植木	清哉	6年	柴田	卓爾	5年	鈴木	英明	4年	重山	五郎	3年	加藤	雄三	2年	窪田	勝	1年	大江	久	増田	幸子	平田	誠	27年	渡部	啓三	26年	中村	順一	25年	石井	忍	24年	桑原	寅次	23年	竹内	達夫	22年	齋藤	優三	21年	池田	輝之	20年	海瀬	久靖	19年	石橋	幹雄	18年	佐藤	成生	17年	茂木	勲	16年	佐藤	勇	15年	権藤	泰浩	14年	坂本	孝夫	13年	中村	弘之	12年	大澤	弘	11年	菊地	晴	10年	笹原	謹二	9年	本間	義二	8年	村井	三子	7年</								

創 立 34 年

東京薬業卸協同組合

代表理事 金子 勝男 (71回卒)

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町9番地  
TEL 03-3254-3087 FAX 03-5256-6734

静岡で和風カラオケBOXの先駆け…!

手作り料理とゆったり和みの  
時間が幸せを感じます。

ごちそうカラオケ

(株)和田フードセンター

TEL 054-655-6660 (本部)

代表取締役 和田 恒廣 (39年卒)

FAX 054-655-1707 (〃)

静岡県駿河区小黒1-8-7

<http://www.luckycat.co.jp>

東京尾浦会

尾浦とは400年前、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた  
武藤氏の築いた「尾浦城」にちなんだ大山の旧称です。

会長 加藤 眞(昭12年卒)

事務局 東京都世田谷区北沢5-15-12 加藤 有絏方

TEL&FAX 03 (3468) 0785 〒155-0031

渋谷区道玄坂1-6-5 TEL 3464-8877

漢方・はり・灸専門

杏林堂漢方薬局・杏林堂鍼灸治療所

鶴岡市本町2丁目5の15 TEL 0235(24)5475

鶴岡市議会議員 渡辺ひろい (71回生) ☎ 0235(25)3955

意欲的出版の

株式会社 創美社

代表取締役 後藤 広喜 (昭和38年卒)

〈好評 発売中〉

今戸神社—恋の縁結び (市野恵子)

東京さんぽるぼ (なかにえり)

〈雑誌〉月刊オフィスユウ (毎月23日発売)

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-2

電話 03-3288-9821(代) FAX 03-3288-9822

<http://sobisha.shueisha.co.jp>

東京羽黒会

出羽三山の里 羽黒町出身の首都圏在住者の古里の会です  
今年40回の総会を6月27日(日)日暮里のホテルラングウットで  
開催します 皆様お誘いのうえお出掛け下さい お待ち申し上げます

会長 山本四郎 役員一同

〒101-0032 千代田区岩本町1-7-1 瀬木診療所 TEL 090-4665-2843

E-mail yama46@kojima.net

コンタクトレンズ取り扱い

有限会社 サウスフィールド

〒997-0034 鶴岡市本町2丁目2-45

TEL 0235-22-7714